

CSR特講



Sustainability Accounting Co., Ltd. / SusTB communications Co., Ltd.

CSR SEMINAR 2012.10.18

「多様化するレポートिंगに対応するために」

日時	2012年10月18日(木) 13:00~15:45 (開場12:45)
募集人数	50名 各社1名様 (応募者多数の場合は先着順締め切りとさせていただきます。)
参加費	無料
申込締切	2012年9月28日(金)
主催	株式会社サステナビリティ会計事務所 サスティビー・コミュニケーションズ株式会社

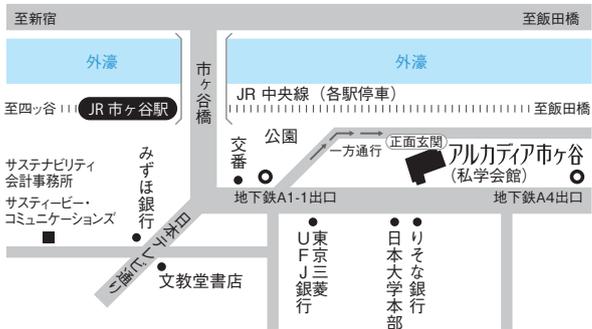
申し込みは弊社HPの申し込みフォームよりお願い申し上げます。

<http://www.sustb.com/seminar/>

FAXでの申し込みも可能です。この用紙にご記入の上、ご送信をお願いいたします。追ってメールで受講票をお送りいたします。

申込締切：2012年9月28日(金) 募集人数：50名 各社1名様

セミナー会場 | アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 5階「大雪(西)」
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL:03-3261-9921



JR・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分

お聞かせください
ご質問・ご意見・ご要望

●頂戴したご質問につきましては、セミナー当日の質疑
応答の時間枠内で、講師より回答させていただきます。

個人情報利用目的

(株)サステナビリティ会計事務所およびサスティビー・コミュニケーションズ(株)は、本セミナーの申し込みによってお知らせいただいた個人情報を、セミナー運営のために利用させていただき、弊社からの各種ご案内・ご提案のために利用させていただくことがあります。

CSR特講 2012年10月18日(木) 13:00~15:45

※印は必須項目です。

フリガナ	
会社名※	
所属・役職※	フリガナ
お名前※	
郵便番号	—
ご住所	
電話番号※	メールアドレス※
ご紹介者	



CSR特講

「多様化するレポーティングに対応するために」

環境省「環境報告ガイドライン」の5年ぶりの改訂発行（2012年4月）、GRIによるGRIガイドライン第4版（G4）の草案公表（2012年6月）、統合報告審議会（IIRC）の統合報告フレームワーク草案のアウトライン公開（2012年7月）など、サステナビリティレポートを含むCSRレポート、アニュアルレポートを取り巻く状況は刻一刻と変化しつつあります。

「さまざまな開示枠組みのトレンドをどう理解し、自社のレポーティングに活用すべきか?」「何をどのように報告するのが効果的なのか?」実務担当者の多くが抱える課題に対し、CSRの第一人者、上智大学上妻教授より、グローバルなガイドライン等が指し示す方向性についてご講演いただきます。

また、企業のCSR活動、レポーティング実務を多数支援している弊社コンサルタントが、実務サポートの視点からその対応方法についてお伝えします。質疑応答の時間を通常より長く設定（40分）し、あらかじめいただいたご質問に、会場にて順次回答していきます。

また、昨年開催のCSR特講で有償配布しました、レポーティングの基盤づくりに参考となる活動面のタスクリストを無料配布いたします。

統合レポート、CSRレポート、サステナビリティレポート、アニュアルレポートなどの制作にかかわる皆さまのご参加をお待ちしております。

» PROGRAM 2012年10月18日(木) 開場 12:45 開会 13:00 閉会 15:45 (2時間45分)

13:00 主催者あいさつ

「サステナビリティレポーティングに関わる最新動向」 上智大学経済学部教授 上妻 義直

13:05 「統合報告」とはそもそも何なのか? G4の改訂のポイントは何々、知っているようで実は曖昧に理解していることも少なくありません。レポーティングに関する国内外の最新トレンドを踏まえ、来年度のレポート作成に向けて押さえておくべきポイントなどをお話いただきます。

「各種レポーティングへの対応のありかた」

14:00

株式会社 サステナビリティ会計事務所 / サスティービー・コミュニケーションズ 株式会社

代表取締役 福島 隆史 マネジャー 中島 史博 コンサルタント 堀江 美保

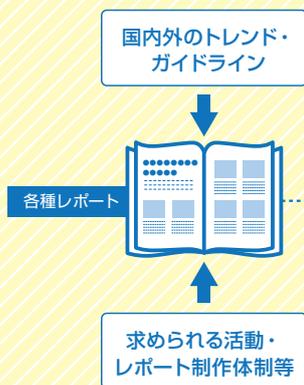
活動面は以前のまま、レポート制作のみ内容を切り替えようとした場合どこにキシムが生じるか、どのような活動や体制が求められるのかなど、これから推進していく対応のあり方について解説します。

15:05 質疑応答 (40分)

上智大学経済学部教授 上妻 義直

株式会社 サステナビリティ会計事務所 / サスティービー・コミュニケーションズ 株式会社 代表取締役 福島 隆史

15:45 閉会



» 講師

Guest Speaker 上智大学経済学部教授 上妻 義直 Yoshinao Kozuma



環境会計論および国際会計論を専門に国内外の環境・CSR動向を踏まえた研究、教育・指導を行っている第一人者。環境省「環境報告ガイドライン2012年版」の発行にあたって「環境報告ガイドライン等改訂に関する検討委員会」の委員長をつとめるなど、多くの公的な役職も歴任し、国内のCSR向上に寄与。

「CO₂を見える化するカーボンラベル」(中央経済社2011年3月)など著書多数。

(株)サステナビリティ会計事務所 / サスティービー・コミュニケーションズ(株) 代表取締役 福島 隆史



公認会計士。大手監査法人にて1996年より環境経営、2002年頃よりCSR全般のコンサルティングや検証業務のマネジメントに携わる。2006年独立しSusA設立、大手企業を中心にCSR取り組み支援や評価向上支援などを継続して行う。2008年に各種レポート制作をワンストップにて直接請け負うSusTBを設立。

企業の自主的かつ健全な情報開示を、CSR・財務双方にわたる広範なノウハウを活かし取り組み面を含めサポートします。

» 主催



株式会社サステナビリティ会計事務所
〒102-0076
東京都千代田区五番町2-24-2F
TEL:03-3288-5538
FAX:03-3288-5536

CSR・サステナビリティ関連の各種アドバイザリーや保証業務を展開しています。レポート制作が他社委託の場合など、コンテンツ確定やマネジメント構築運用を中心にコンサル関与しています。第8期現在迄の関与実績は30社、計84件*、大手企業からのご指名を頂戴しています。



サスティービー・コミュニケーションズ株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町2-24-2F
TEL:03-3288-5535
FAX:03-3288-5536

コンサルタント(CSR/財務)、ライター、デザイナー、フォトグラファーを内在、各種レポートの制作業務を中心に、高い機動力で正確かつ柔軟なサービス提供をめざしています。第5期現在迄の関与実績は20社、計51件*、大手企業からの委託で制作業務を提供しています。

*件数は年間関与を1件カウント